



前を向いて進もう

— 信頼される医療看護の構築へ —

2018年5月1日より新病院で診療を開始しています。移転前のプロジェクト会議、移転リハーサル、4月29・30日の移転本番があったことは、すでに思い出となりました。頑張っ
て遂行していただきました職員、関係者の方々には感謝の気持ちで一杯です。この素晴らしい療養環境の病院に生命を吹き込むのは、私
ども職員です。一丸となってChallengeです。

院長 小川 洋史

(撮影：小川 洋史)



開院のご挨拶



社会医療法人名古屋記念財団 理事長 太田圭洋

私たち、社会医療法人名古屋記念財団を主とするホスピグループは、私の父、太田和宏が1971年に前田憲志先生(名古屋大学名誉教授)とともに腎不全患者の治療を目的とした夜間透析を専門で行う名古屋クリニックを瑞穂区の地に立ち上げたことからスタート致しました。

その後、名古屋クリニックは新生会第一病院に成長し、腎不全治療と地域医療を担う病院として貢献してまいりました。

瑞穂区の地で新生会第一病院が医療を提供し続けることができたのは、多くの地域医療を担う方々、腎不全治療を担う方々他、多くの方々のご支援によるものであり、心より感謝申し上げます。

この度、新生会第一病院は、平成30年5月1日に天白区高宮町の地に新築移転することができました。新生会は新しく生まれると書きますが、まさに新生、リボーン、生まれ変わりました。

けんこう百花91号

新生会
情報誌

#IOSPY

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY



今回の移転では、グループ創設時から担ってきた腎不全治療の今後に必要なことや、地域において私たちに求められていることを考え、病床を96床から地域包括ケア病床20床を含む一般病床48床、医療療養病床96床の144床に増床しました。また、病室、廊下、食堂のスペースを広くとり、快適な療養環境を実現するとともに、患者様が早く元気になって在宅に復帰していただくため、リハビリスペースを拡張し、リハビリ機能も充実させました。

病院北側には、スロープおよび専用送迎車の駐車スペースを設置することにより、専用送迎車を利用される透析患者様の2階出入口から透析室へスムーズな入室や、病棟から透析室、病棟からリハビリ室への動線を短くすることで、患者様が利用しやすい環境づくりに工夫をしました。また、災害時の備えとして、2系統からの受電に加え、大容量の自家発電装置、燃料、水の貯蔵を行い、透析医療を継続できるようにしました。これから、スタッフ一同が一丸となって全力で地域医療に貢献し、この地に新生会第一病院があってよかったと地域の方々や、地域の医療・介護の関係者の方々に認めもらえる病院にしていく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。



新生会第一病院 院長 小川洋史

新生会第一病院は丘の上にあります、坂を登るにつれ、新病院が大きくせまってまいります。この素晴らしい建物に生命を吹き込むのは私共スタッフです。新病院は病床144床、透析ベッド100床を有しています。腎不全、透析医療はもちろんですが、この地域の地域包括ケアの一端を担うことを考えています。天白区医師会の一員として、地域医療に貢献していきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

今回、当院にとっては1971年の開院にも劣らない大きな変化です。「物事の成否の鍵は人にあり」と言われています。信頼される医療を構築、提供することは、私共スタッフひとりひとりの肩にかかっています。一丸となってChallengeしていく所存です。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



新病院館内のご案内

2018年5月1日、新病院は開院し診療を開始しています。4月21・22日に内覧会を行い、約1000名の参加がありました。では誌上で館内をご案内いたします。

総合受付・患者支援センター

病院玄関入って直ぐのところですよ。受診時の受付と診療後の会計を行います。近くには患者様の診療に関する相談窓口「患者支援センター」があります。



手術室・X線透視室

当院は年間、約1000例のシャント治療を行っています。血液透析にとって重要なシャントの問題に積極的に関与していく方針です。手術室は2部屋あり、第一手術室にも血管撮影装置が設置予定で、X線透視室と共に2部屋でシャントの血管内治療が可能となります。

写真：手術室でのシャント手術(上)
X線透視室でのシャントPTA(下)



病室

2階に一般病棟48床(うち地域包括病床20床)、3階・4階は療養病棟で、各々48床、入院病床は合計144床です。当院の機能としては亜急性期、慢性期患者様の機能回復、在宅復帰をめざしています。



透析室

透析室は2階、3階にあり、各々、透析ベッド数50床です。透析体制は午前、午後の2クールです。専用車両による送迎サービスを行っています。

リハビリ室

4階にあるリハビリ室からは、北西の方面は名古屋駅周辺の高層ビル群さらには伊吹山が展望されます。患者様の在宅復帰、社会復帰をめざし、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が活動しています。



医師のご紹介 ～新たに外来診療を担当される医師です～



水曜 午前 シャント外科
櫻井祐補先生

よろしくお願いします。

金曜 午後 糖尿病内分泌内科
津留香里先生

金曜日の糖尿病内分泌内科を担当させていただきます。
よろしくお願いします。



新生会第一病院の理念と基本方針

- (理念) 新生会第一病院は、地域が必要としている医療と、腎臓病・透析療法の専門的医療を提供し、人々から信頼される「アットホームな病院」をめざします。
- (基本方針) 1. 私たちは、患者さまの権利を尊重し、生命と人生を大切にし、患者さまに満足していただける医療の実践をめざします。
2. 私たちは、自らの成長をとおして、医療の質の向上をめざします。
3. 私たちは、保健、医療、介護、福祉機関相互の連携をはかり、地域に開かれた病院づくりをめざします。

患者さまの権利

1. 個人の尊厳が守られる権利
一人の人間として、その人格、価値観などを尊重します。
2. 医療を受ける権利
良質で適切な医療を公平に受けることができる権利を尊重します。
3. 知る権利・学習する権利
病名や病状などの医療情報について十分な説明を受ける権利、また、病気や疾病予防、健康について学習する権利を尊重します。
4. 自己決定の権利
緊急の場合を除き、治療方法などについて、自分自身の意思で選択、又は、拒否することができる権利を尊重します。
5. プライバシー保護の権利
医療上の個人情報には十分に配慮される権利を尊重します。

患者さまの責務

1. 情報を提供する責務
自分の健康や病気について、医療者にできるだけ正確に情報を提供する責務があります。
2. 質問する責務
提示された医療行為の説明を、自分が理解できるまで質問する責務があります。
3. 行動の責務
すべての患者さまが適切な医療を受けられるために、病院の定めた規則を守る責務があります。

新生会第一病院 外来診療体制表

※診療体制は今までと変更ありません。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
一般内科	午前	○	○	/	○	○	○
腎臓内科		○	○		○	○	
整形外科・リウマチ科		○	○		○	○	
糖尿病・内分泌内科	午後	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	※	○	○	○	○	○	○

診療時間：

午前 9:00～12:00 (受付時間 8:30～11:30) /
午後 13:30～16:30 (受付時間 13:00～16:00)
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病・内分泌内科の日に糖尿病栄養外来、
糖尿病看護外来を実施 ◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間：

午前 9:00～12:00 / 午後 13:00～16:00

人工透析内科、透析ベッド 100 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒468-0031 名古屋市天白区高宮町1302

電話 (052)808-2100 FAX (052)808-3232

ホームページ <http://www.hospny.or.jp/shinseikai/>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受付けますので来院ください)

